

# 「望ましい働き方ビジョン」の概要（平成24年3月とりまとめ）

～非正規雇用問題に総合的に対応し、労働者が希望する社会全体にとって望ましい働き方を実現する～

- 個人はもとより、社会全体にとって望ましい働き方とは何かという観点から、今後の非正規雇用対策に求められる基本姿勢や、具体的な方向性を提示。（非正規雇用のビジョンに関する懇談会（座長：樋口美雄 慶應義塾大学商学部長））
- 今後、このビジョンの方向性を踏まえ、労使の合意を得つつ、実効ある非正規雇用対策の取組を推進

## 労働市場の状況

- 人口減少社会、今後、就業者数は大幅減少  
\* 今後10年で約400万人の減少

- 失業率は高止まり、「非正規雇用」は1／3超  
\* 非正規割合は、2011年で35.1%

## ビジョンのポイント

- 人口減少社会の下、労働者が働くことに希望を持ち、活力ある経済社会を構築するためには、「人材立国」の実現に向け、社会全体で一人ひとりの労働者のキャリア形成を支えることが重要。
- あわせて、雇用形態に関わらず公正な待遇を確保するとともに、フリーター等の「不本意非正規就業者」について正規雇用への転換の支援を行うことが重要。

→ これにより、労働者の士気や職業能力の向上につなげ、企業の生産性の向上、ひいては、日本経済全体の発展につなげるという「好循環型社会」を目指す。

## 施策の具体的方向性

①若者に雇用の場を確保

②正規雇用・無期雇用への転換促進

③中立的な税・社会保障制度の構築

④公正待遇の確保、不合理格差の解消

⑤均等・均衡待遇の効果的促進

⑥職業キャリアの形成の支援

⑦雇用のセーフティネット強化



- 非正規雇用の能力開発強化に向けた施策の方向性を示す「非正規雇用労働者の能力開発抜本強化に関する検討会報告書」をとりまとめ（平成24年12月）。今後、産業政策・教育政策とも連携し、具体的な取組を強力に推進。
- 具体の取組の一つとして、平成25年度概算要求で、企業内での非正規雇用労働者のキャリアアップを総合的に支援する包括的な助成措置を要求。